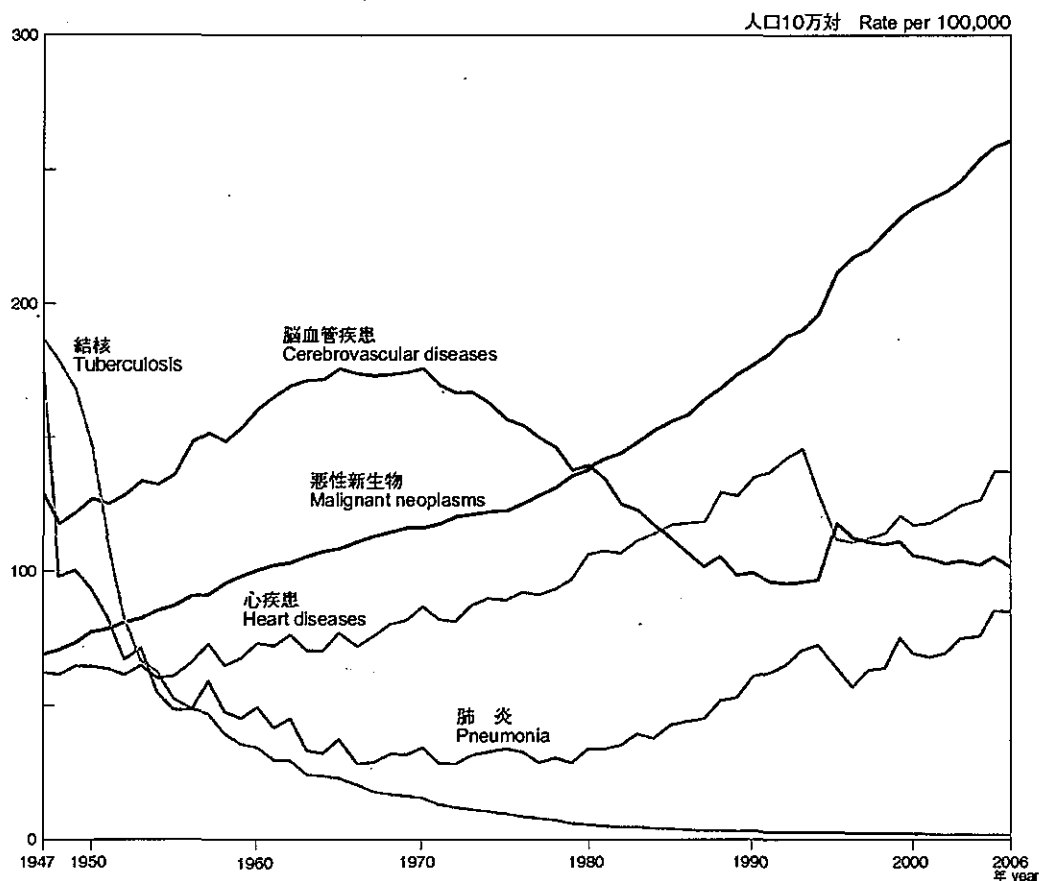


# 我が国のがん対策について

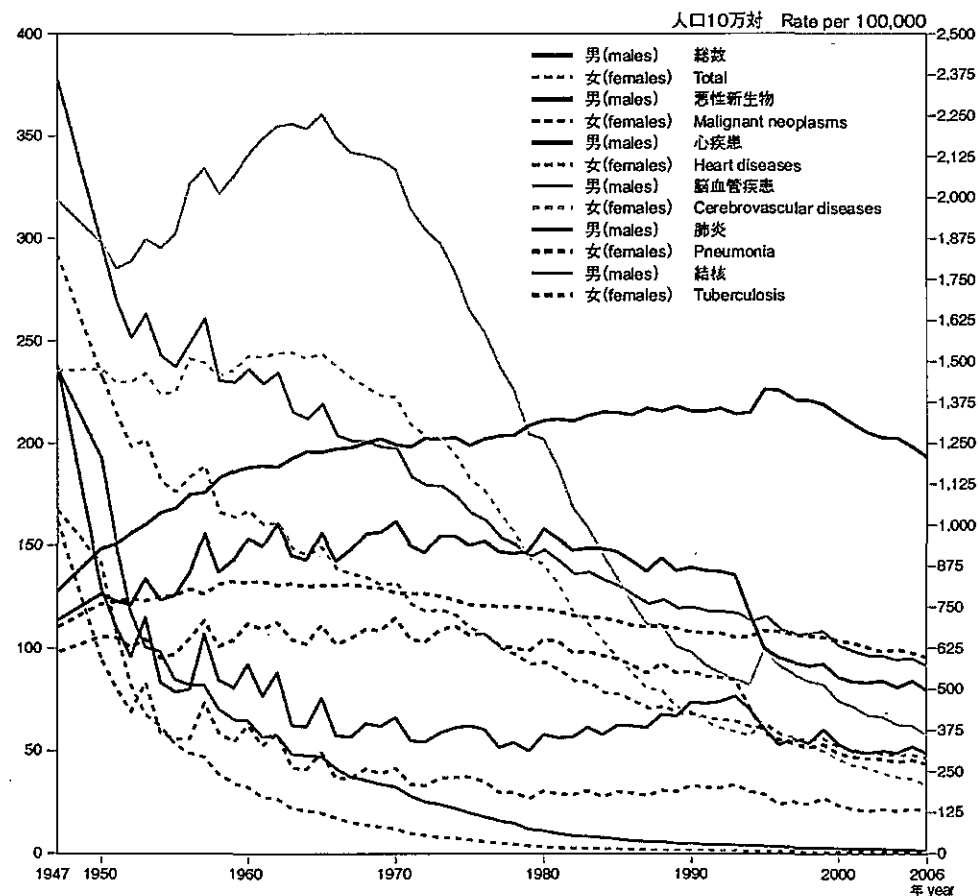
平成24年9月5日  
がん対策推進協議会  
門田守人

# 死因別粗死亡率と年齢調整死亡率の年次推移

**10** 主要死因別粗死亡率年次推移 (1910年~2006年)  
Trends in Crude Mortality Rate for Leading Causes of Death (1910~2006)



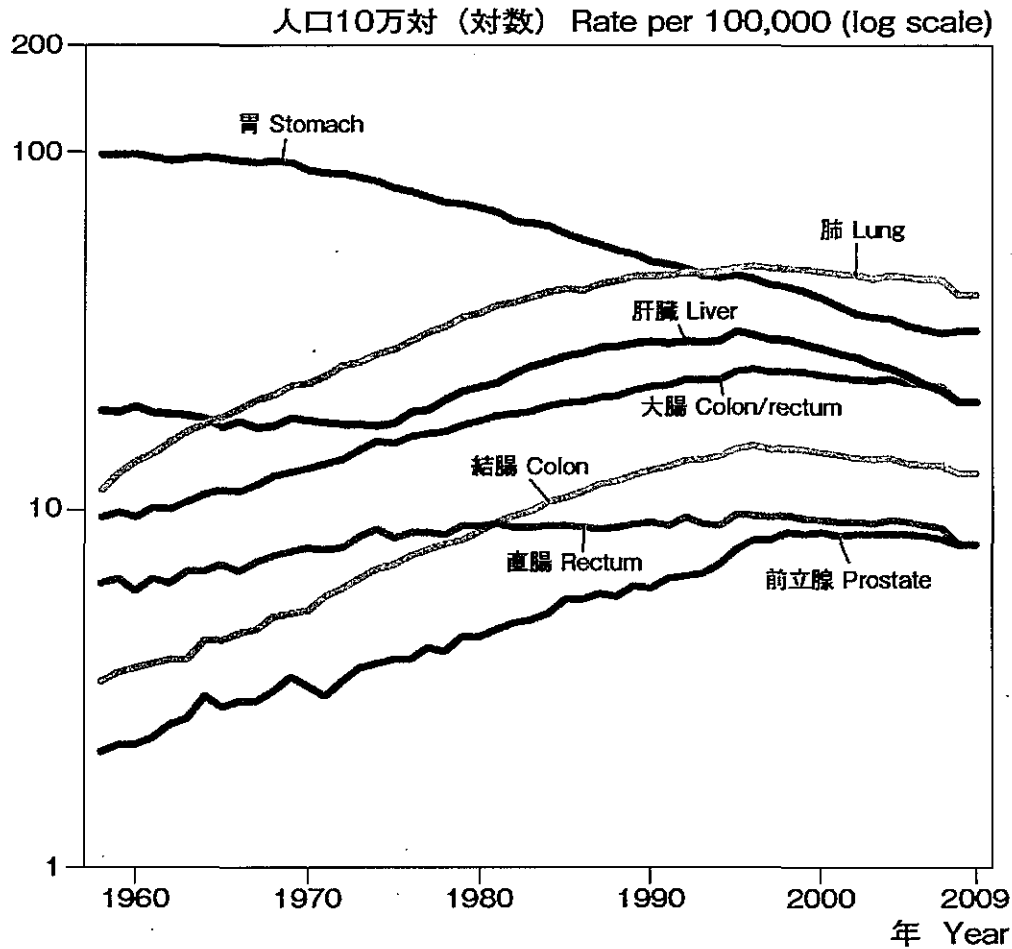
**11** 主要死因別年齢調整死亡率年次推移 (1947年~2006年)  
Trends in Age-adjusted Mortality Rate for Leading Causes of Death (1947~2006)



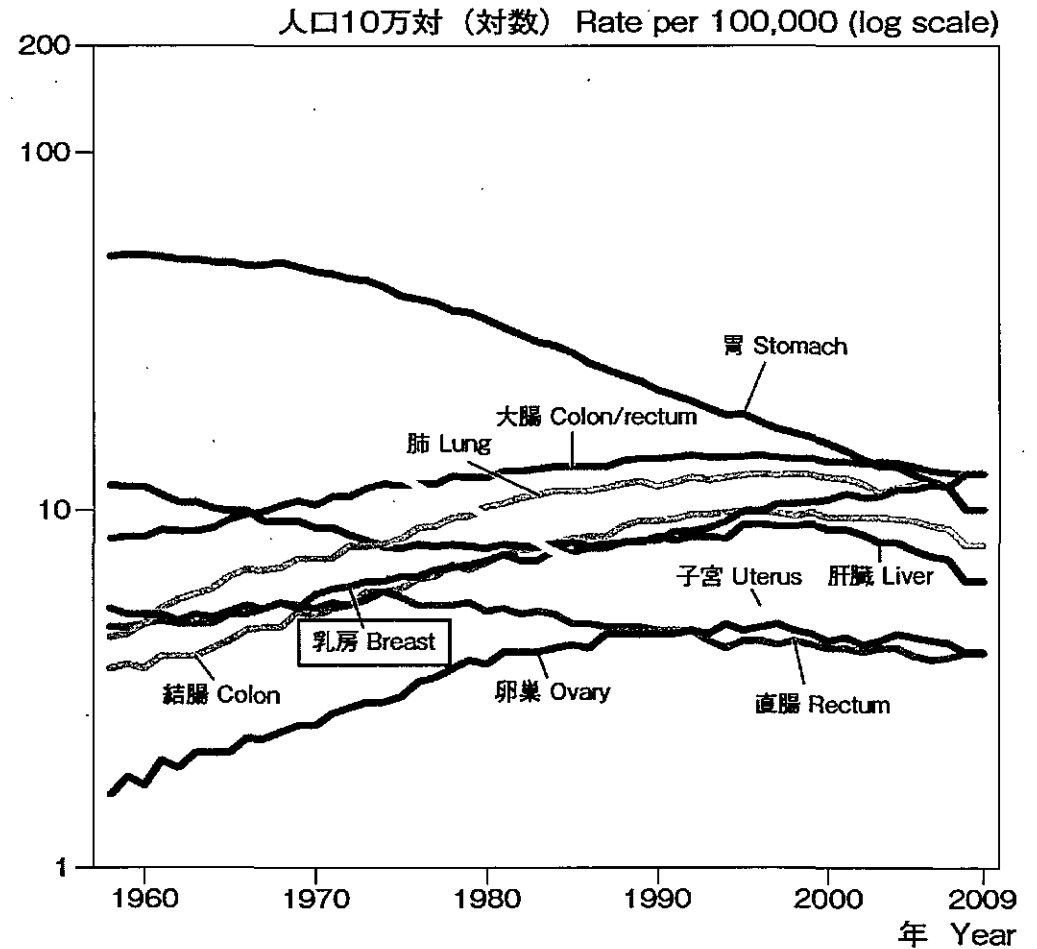
# 年齢調整死亡率の推移

## (2) 部位別 (主要部位) Site-specific (Major Sites)

男性 Males



女性 Females

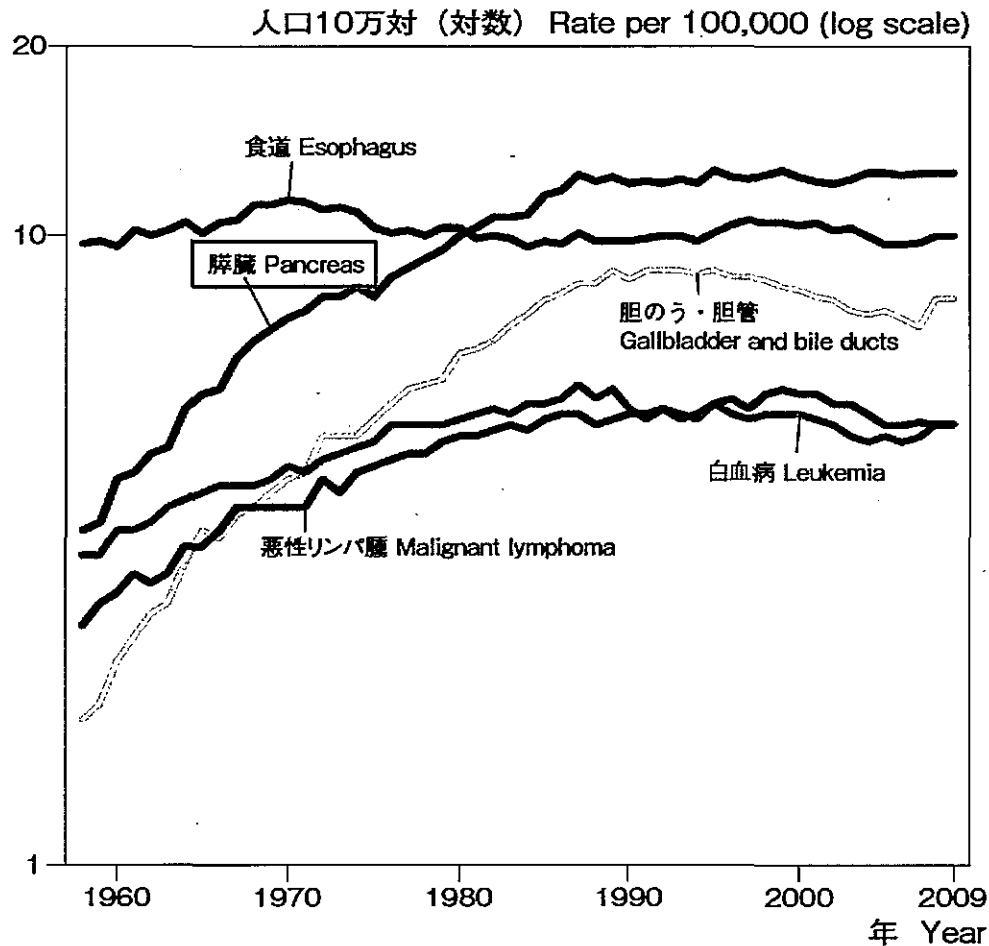


がんの統計' 11 (がん研究振興財団)

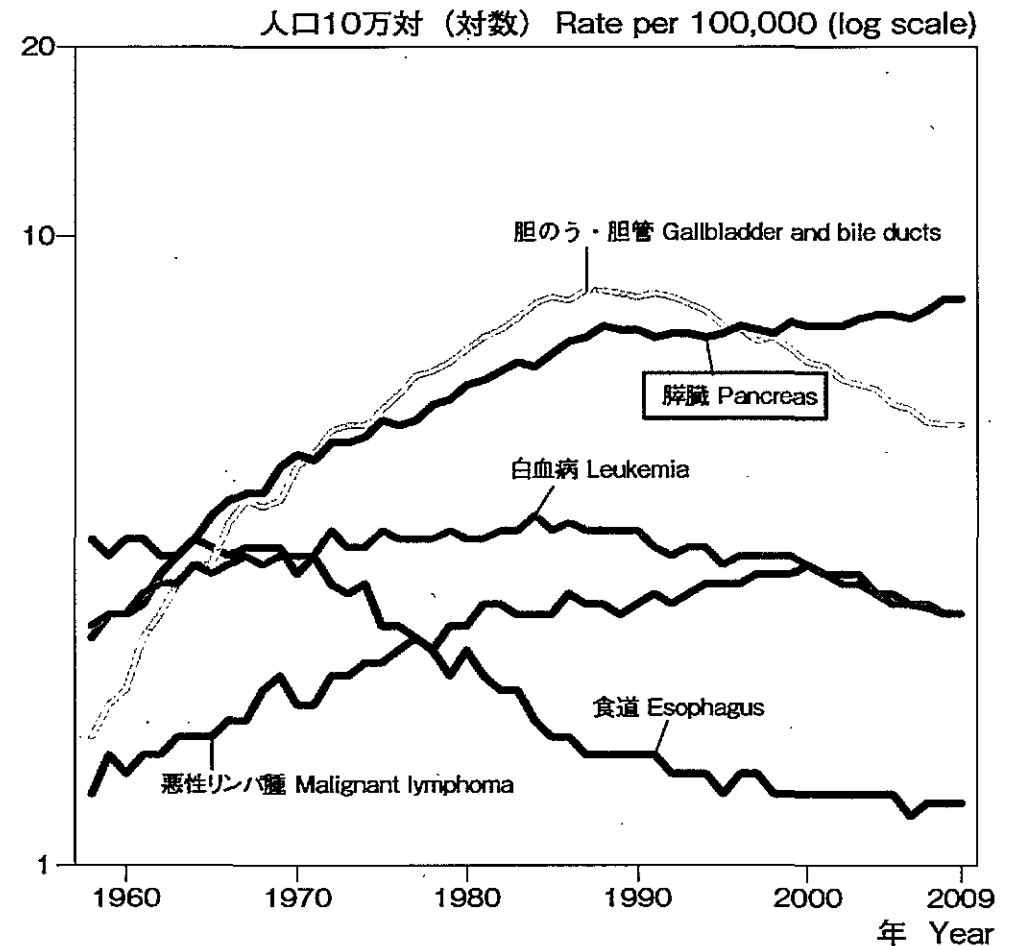
# 年齢調整死亡率の推移

## (3) 部位別 (詳細部位) Site-specific (Minor Sites)

男性 Males



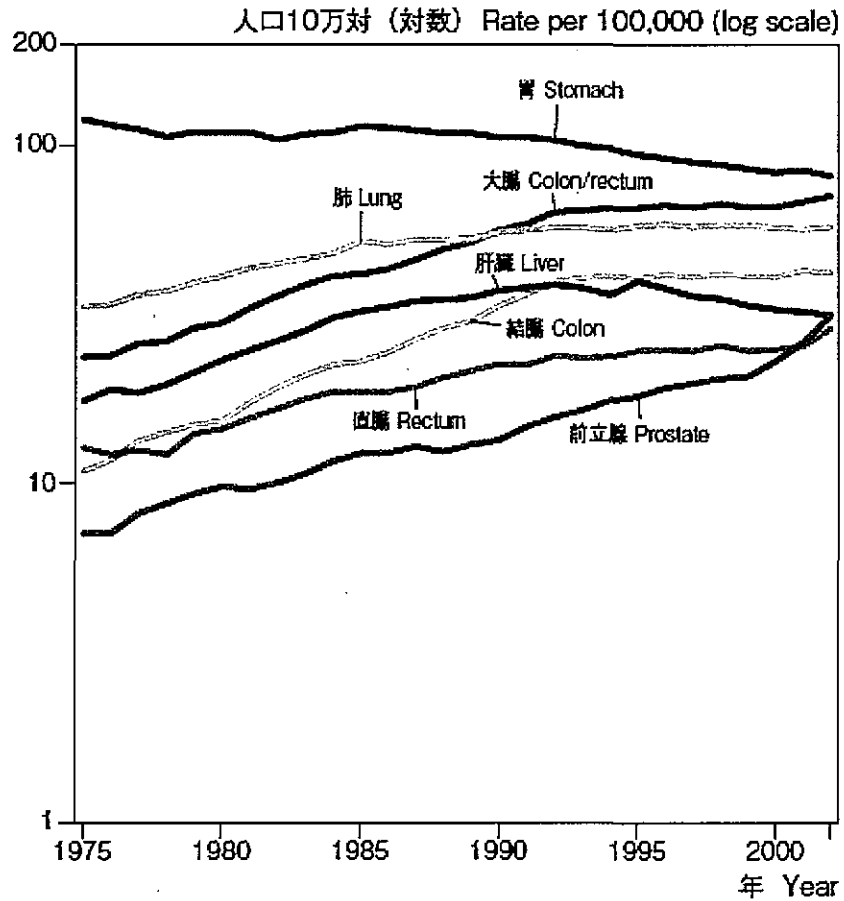
女性 Females



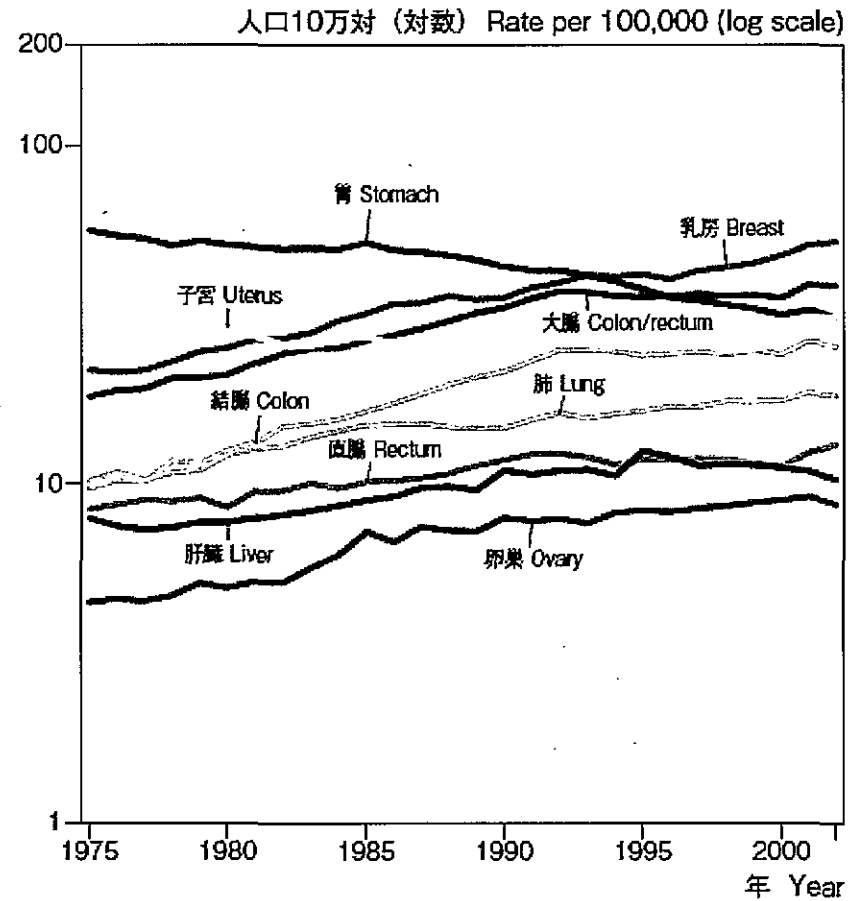
# 年齢調整罹患率の推移

## (2) 部位別 (主要部位) Site-specific (Major Sites)

男性 Male

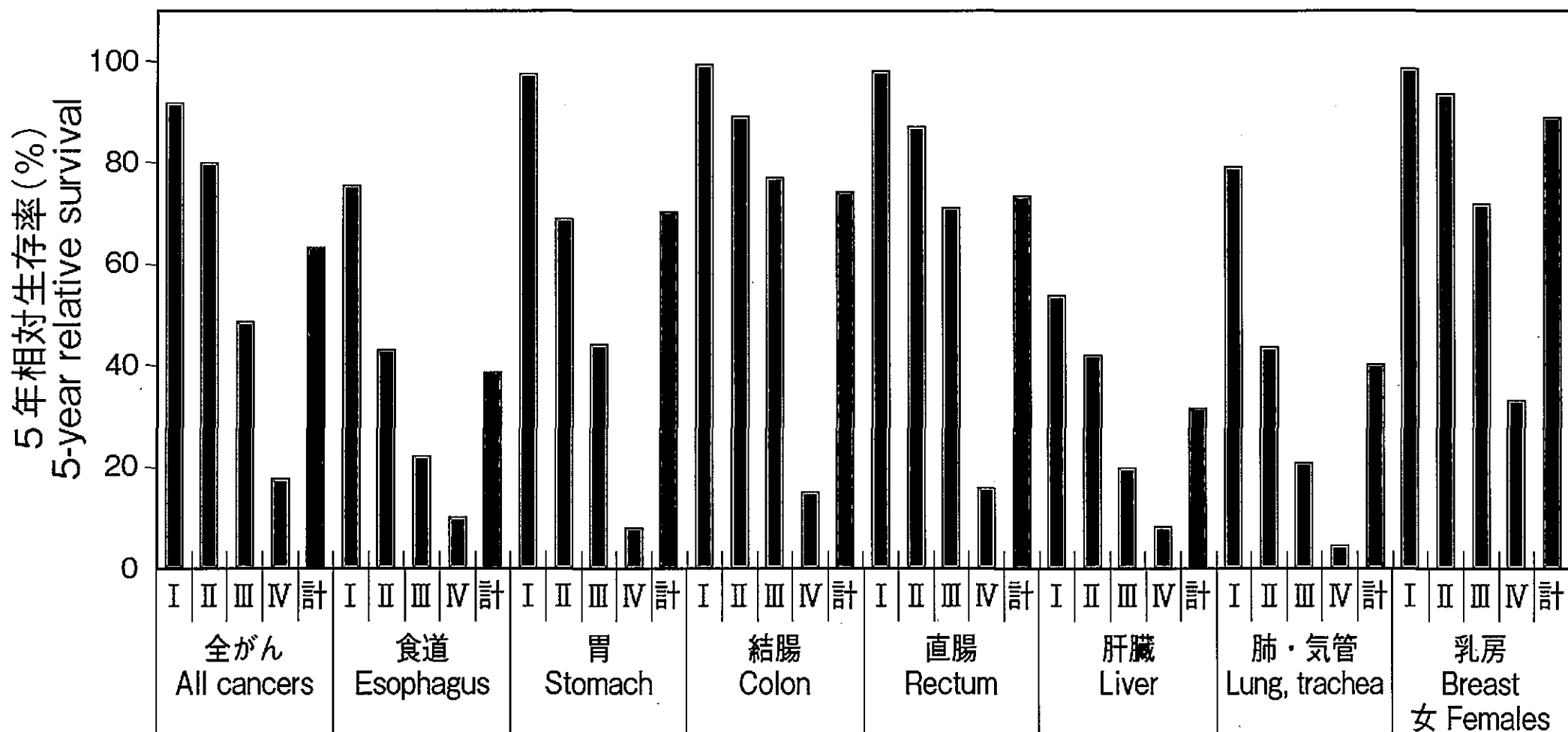


女性 Female



# 臨床病期別5年相対生存率 (1999-2003診断症例)

## 全国がん(成人病)センター協議会加盟29病院

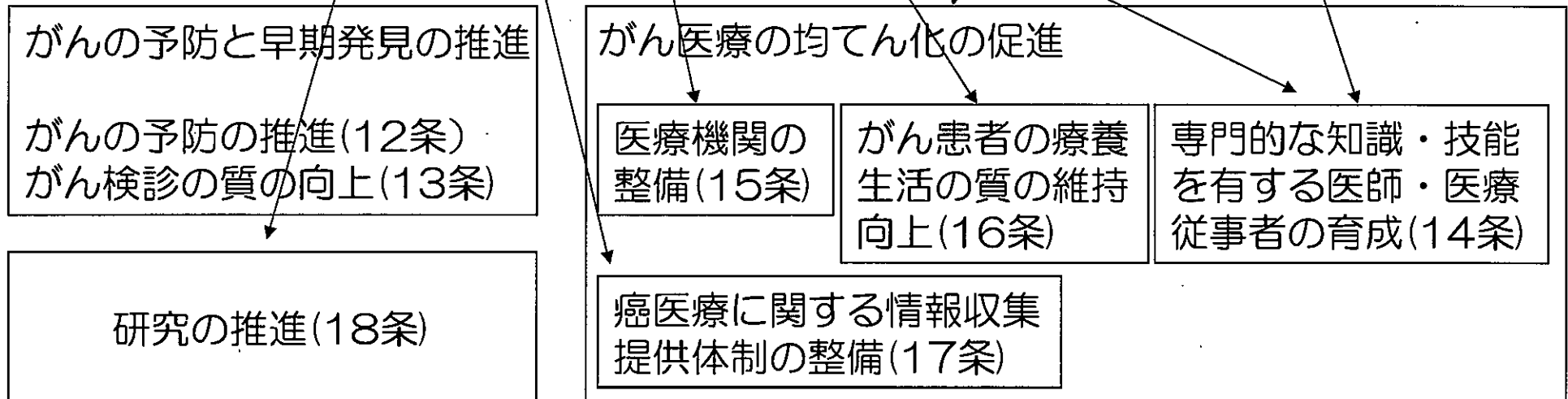
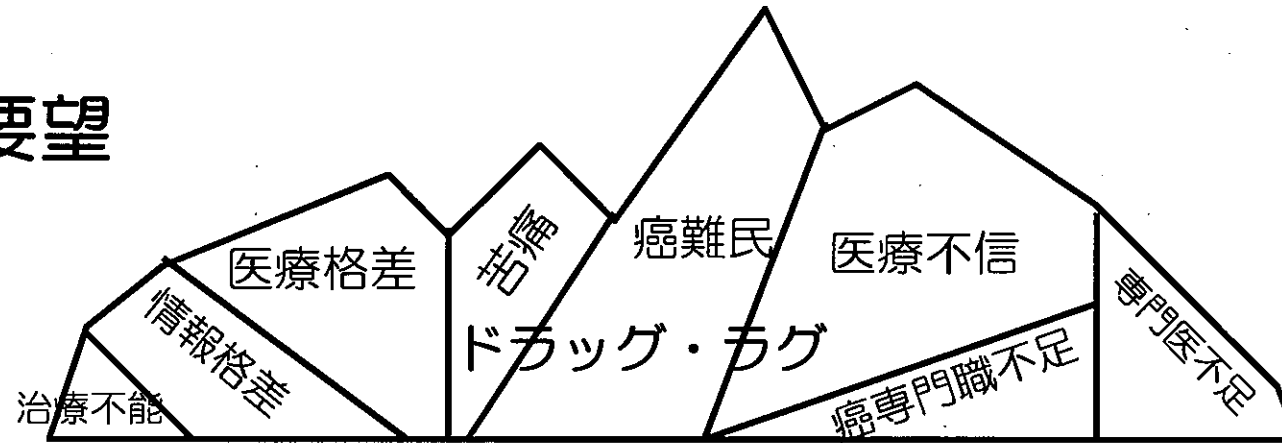




# がん対策の歩み（がん対策推進基本法策定前）

明治41年(1908)	癌研究会創設(我が国初の癌専門機関として、初代総裁：桂 太郎)
昭和37年2月	国立がんセンター設置
昭和56年	悪性腫瘍が我が国の死亡原因の一位となる
昭和58年2月	老人保健法施行(胃がん・子宮がん検診の開始)
昭和59年4月	「対がん10カ年総合戦略」の開始
昭和62年	がん検診に子宮体部がん・肺がん・乳がん検診を追加
平成4年	がん検診に大腸がん検診を追加
平成6年	「がん克服新10カ年戦略」の開始
平成13年8月	地域がん診療拠点病院制度の開始
平成16年	「第3次対がん10カ年総合戦略」の開始
平成17年4月	がん医療水準均てん化に関する検討会報告書
平成17年5月	がん対策推進本部(本部長：厚生労働大臣)の設置
平成17年8月	「がん対策推進アクションプラン2005」の策定
平成18年2月	がん診療連携拠点病院制度の開始
平成18年4月	健康局総務課にがん対策推進室を設置
平成18年6月	がん対策基本法が議員立法により成立

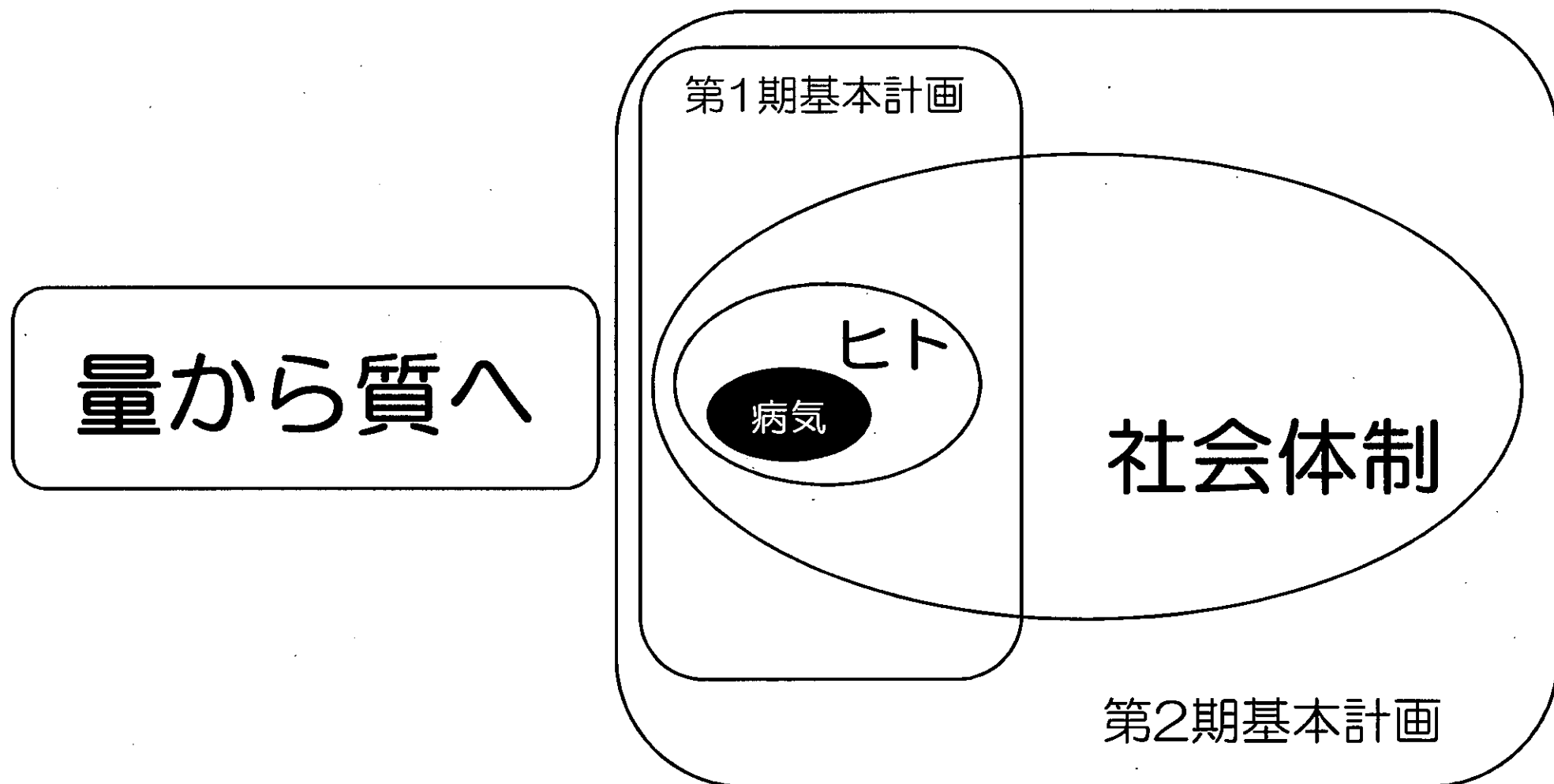
# 患者さんの要望



## がん対策基本法成立(2006)



# 進化する次期がん対策推進基本計画



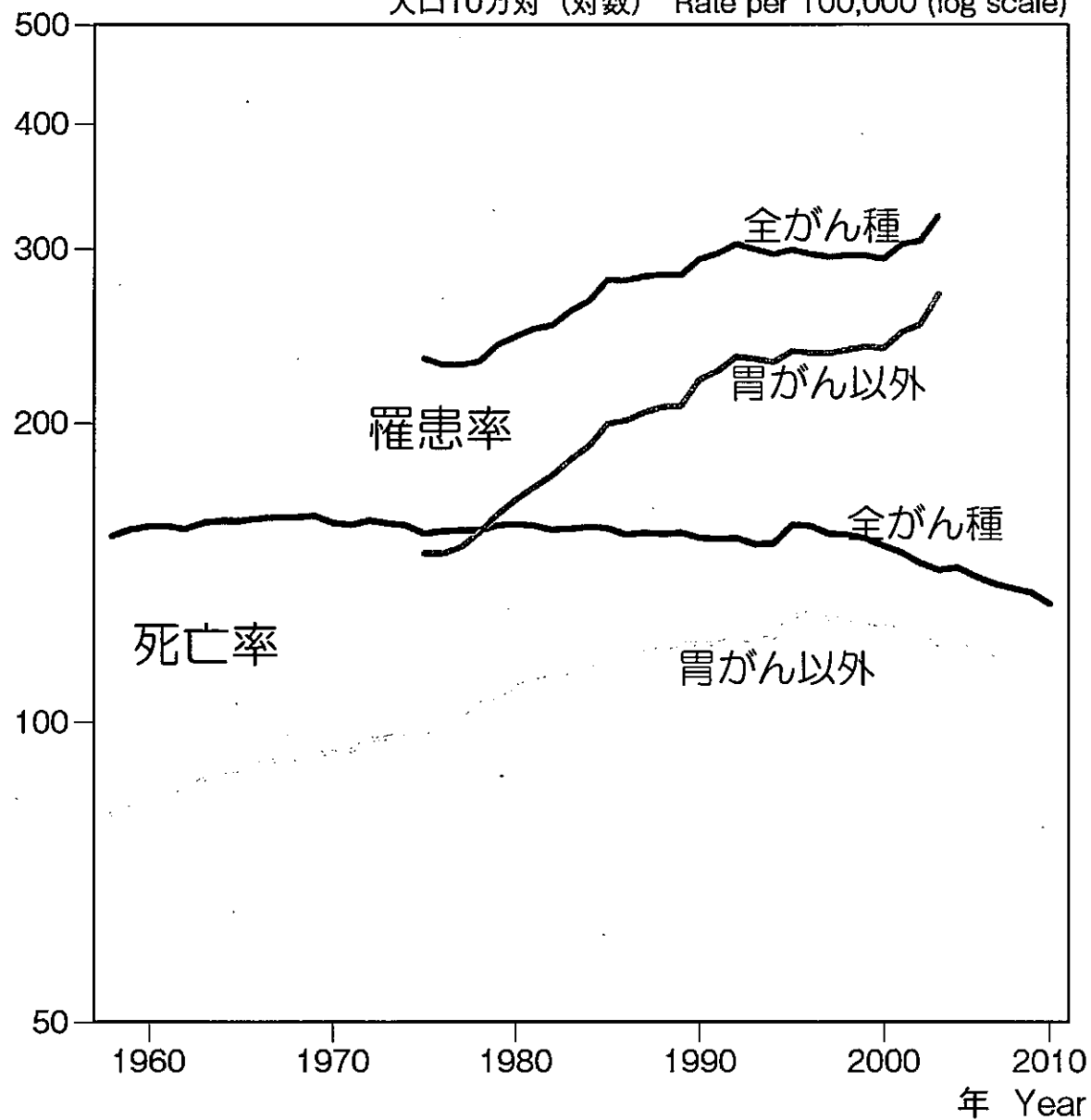
# 我が国のがん対策の課題

# 日本の年齢調整がん罹患率と死亡率

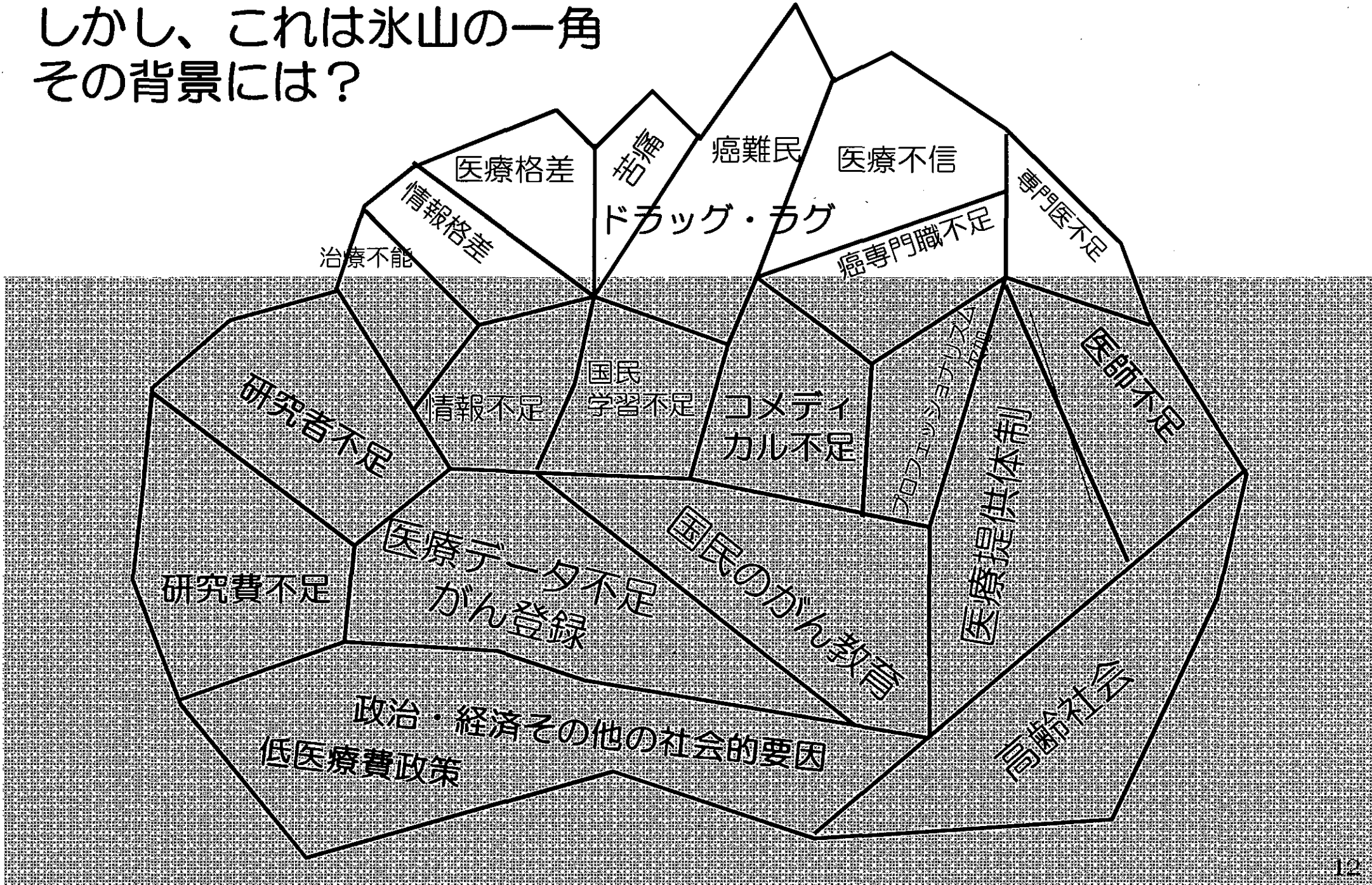
がんの統計' 11 (がん研究振興財団)

全年齢 男女計 All Ages both sexes

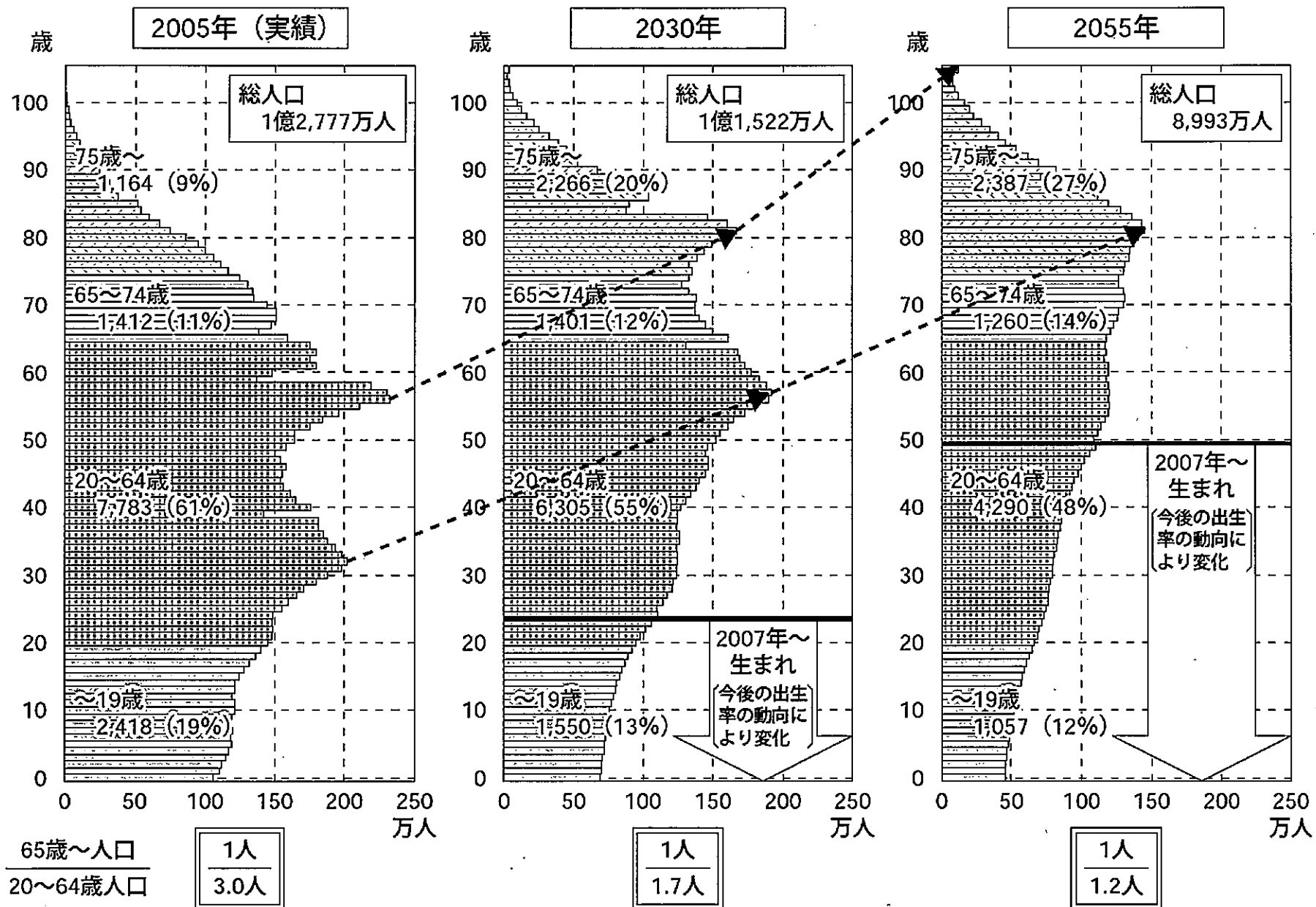
人口10万対 (対数) Rate per 100,000 (log scale)



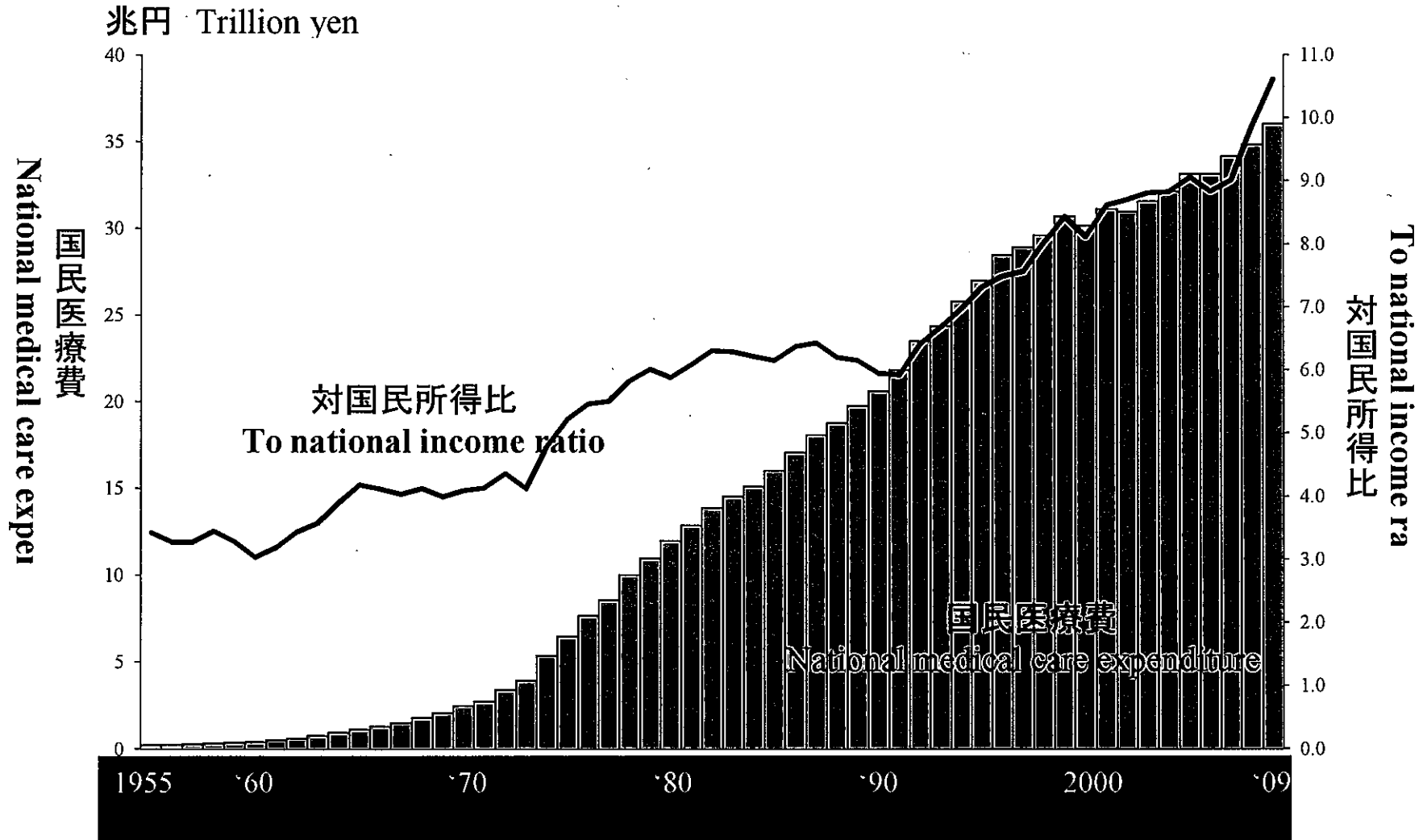
しかし、これは氷山の一角  
その背景には？



# 人口ピラミッドの変化 (平成19年厚生労働白書)



# 国民総医療費及び対国民所得比



(厚生労働省平成21年度国民医療費の概況より作図)

# 第3次対がん10か年総合戦略

～がんの罹患率と死亡率の激減を目指して～  
(平成15年3月31日)

1. がん研究の推進
  - (1) がんの本態解明の飛躍的推進
  - (2) トランスレーショナル・リサーチの推進
  - (3) 革新的な予防法の開発
  - (4) 革新的な診断・治療法の開発
  - (5) がんの実態把握とがん情報・診療技術の発信・普及
  
2. がん予防の推進
  - (1) がんの有効な予防法の確立
  - (2) がん予防に関する知識の普及の促進
  - (3) 感染症に起因するがん予防対策の充実
  - (4) がんの早期発見・早期治療
  
3. がん医療の向上とそれを支える社会環境の整備
  - (1) がん研究・治療の中核的拠点機能の強化等
  - (2) がん医療の「均てん化」
    - ①がん診療拠点病院の整備
    - ②がん専門医の育成
  - (3) がん患者等の生活の質（QOL）の向上
  - (4) 国際協力・国際交流の促進並びに産官学協力の推進

# 医療イノベーション会議（2012.6.6.）

がん領域：総合的な研究戦略の策定等の政府一体となった取組を進める。

- ① 「がん対策推進基本計画」に基づき、がん対策を総合的かつ計画的に推進することにより、がんによる死亡率を20%減少させる。（内閣官房、内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省）
- ② がん研究分野に対して関係府省が連携して戦略的かつ一体的に推進するため、「がん対策推進基本計画」の示すとおり、今後の総合的ながん研究戦略を策定する。（内閣官房、文部科学省、厚生労働省、経済産業省）
- ③ 関係府省の協力の下、がんの基礎研究の成果を活用しながら、最適化研究や前臨床試験などを促進し、臨床研究・医師主導治験につなげる。（厚生労働省）
- ④ 日本発の革新的な医薬品を創出するため、GLP 準拠の非臨床試験、国際水準の臨床研究・医師主導治験を推進する。（厚生労働省）
- ⑤ 革新的な診断方法の開発・普及を進めるとともに、国内の優れた最先端技術を応用した治療機器の開発・整備を行う。また、造血幹細胞移植等、がんに関する移植関連技術の研究開発の推進を行う。（厚生労働省）
- ⑥ がんに関する我が国発の革新的なシーズについて、効率的・効果的な育成を図り、臨床応用を目指した研究を加速する。（文部科学省）
- ⑦ 平成25年度中にがん登録の法制化を目指す。（厚生労働省）



# 科学技術イノベーションの実現に向けた取り組み (総合科学技術会議2012.7.30)

## 平成25年度アクションプラン「ライフイノベーション」の概要

### 目指すべき社会の姿

心身ともに健康で活力ある社会

高齢者及び障がい児・者が自立できる社会

※25年度は斜字体のポイントを追加

### イノベーションの着実な推進

### 政策課題(目的)

#### 革新的医療技術の迅速な提供及び安全性・有効性の確保

がん等の社会的に重要な疾患の予防、改善及び治癒率の向上

- がんの年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少
- 精神疾患に起因した自殺の減少、
- 糖尿病の合併症の発症の減少 など

身体・臓器機能の代替・補完

- 最新の再生医療を受けられる

技術の社会還元  
に必須の科学的知見を集積

少子高齢化社会における生活の質の向上

- 介護の質の向上と効率化
- 発達障害の早期診断・治療 など

※国家戦略(医療イノベーション5か年戦略)で達成目標等が設定されているものは、アクションプランにおいてもその達成を目指す。

### 重点的取組(手段)

個人の特徴に  
着目した予防  
医療の開発

がん等生活習慣病やその合併症、うつ病、認知症、発達障害等の革新的な予防・診断・治療法の開発

再生医療  
の研究開発

レギュラトリー  
サイエンスの推進  
による新たな医療  
技術の開発

機能代償・  
自立支援  
技術の開発

小児期に起因  
する疾患の  
予防と予後の  
改善等に関する  
研究開発

25年度は次世代への視点を新規に追加

# 解決のための取り組み

- ◆ 多面的・本質的視点に立った課題の抽出
- ◆ まず、長期的視野に立った基本計画が必須
- ◆ そして、中・短期的計画の策定